

祭りのあと

～中央地区夏まつりを終えて～

信州大学経法学部総合法律学科3年 うえだ ゆか しみず ゆうか
上田 優佳 清水 祐香



★インターン生によるポップコーン販売★

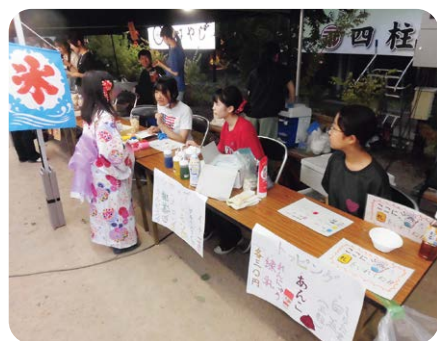
私たちは、松本市役所のインターンシップの一環で、今年の中央地区夏まつりに携わらせていただきました。まつり当日に向けて、夏まつり実行委員会の会議に参加し、花火会場の改善案を考えたり、来場者アンケートの作成に取り組みました。大変なこともありましたが、多くの方に支えてもらい、よい経験



を得ることができました。夏まつりには実行委員会だけでなく多くの地域の方々が関わり、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫をしました。当日、子どもたちが楽しんでいる姿を見て、「頑張ってよかった」と、うれしい気持ちになりました。

当日は、ポップコーンの屋台を出店させていただきました。その中で、小学生にぼんぼん・青山様について、より知ってもらうためクイズを行い、正解した小学生にはスペシャルポップコーンをおまけとして渡しました。多くの小学生に参加してもらうことができ、より一層ぼんぼん・青山様の知識が深まったのではないかと感じています。

夏まつりへの参加をとおして、地域の文化を次世代につないでいくことの大切さや、子どもたちが楽しめるように多くの人が何度も話し合いや調整を行っていることを改めて学び、貴重な体験をすることができたと思っています。



★地元中学生のかき氷は大好評!★



★ぼんぼんの提灯行列★



★青山様子ども神輿★



★夜も大賑わい★



★焼きそばは今年も大人気!★



★若者さんかくクエスト子ども縁日★



プラズマボールに興味津々

子どもたちが夏休みに入った7月24日と31日に、公民館特別企画として小学校高学年を対象にした「おおて理科教室」が開催されました。

地球環境フォーラムの林秀彦さんを講師にお招きし、夏休みを利用して理科の面白さや不思議なところを学んでもらおうと企画したもので、2日間で12人の小学生が参加してくれました。

教室では小型ドローン操縦体験や「ペンハムのコマ」の工作、プラズマボール、スターリングエンジンの実験等を行い、子どもたち一人一人が体験をとおして、理科の奥深さに触れ、興味を持つきっかけとなりました。

おおて理科教室



廃線敷にロマンを感じる

「鉄道文化むら」を見学し、帰ってきました。

昼食後は、横川駅にある、

「熊ノ平駅」から「峠の湯」までの約3.5キロを歩きました。(一部参加者はめがね橋まで)

途中豪雨により、びしょぬれになりながら、無事目的地の「峠の湯」に到着し、各自お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

お昼ごはんを食べました。なんとここで事件が発生!! ほんのりとした事件が起きました。

廃線敷ウォーキング

歴史文化 研修講座

町内公民館長会視察研修 歌舞伎の里・大鹿を訪ねて

7月6日、あいにくの雨の中、下伊那郡大鹿村を訪れました。まず、春の大鹿歌舞伎の舞台である「大嶺神社」に足を運びました。急な坂道でしたが、息を切らしてのぼると、そこには美しい新緑の中、厳かな空気が包む境内に舞台がありました。公演当日はものすごい熱気に包まれるであろうそのギャップを想像すると、なにやら不思議な感覚を覚えました。諏訪大社の

「建御名方神」を祀っていることもあり、みごとな御柱もありました。

中央構造線博物館での地質模型や数多くの岩石の多くにも驚きました。

最後に寄った元善光寺でのご戒壇巡りにどきどきし、住職のありがたいお話を笑顔いっぱい聞き、帰途につくことができました。

(上條 直利)

長元坊 チョウゲンボウ

今年の夏も暑い日が続きました。新聞によれば、南米ペルー沖で海面水温が高くなるエルニーニョ現象が8月10月にかけて、さらに発達しそうなとのこと。この状態が続けば世界の広い範囲で気温が平年を上回る可能性が高まるそうです。

日本でも今年から新設された気温40度以上の「酷暑日」が観測された地点が全国で34か所あり、日数は9日間あったそうです。松本ではさすがに40度と言うことはありませんが、それでも37度を超えた

日がありました。子どもの頃、夏と言えばどんなに暑くても32度が普通で、それ以上に暑くなることなど滅多にありませんでした。ここ数年は春と秋が無くなってしまったかのように暑い日が続くようになり、40度の酷暑日も9日の内7日を7月に観測しています。多摩動物園では暑さのためライオンが死に、日本の至る所で局地的な雷雨が発生し、大変な被害をだしています。また、特定の虫が大発生したり、今年は蟬の声が聞こえないなど、新聞の記事をにぎわせていました。8月に日本へ上陸した台風8号は、観測史



大鹿歌舞伎の舞台の前で

上初めて関東地方の茨城県に上陸し、東から西へ逆走して縦断するコースを進みました。この動き方は本来熱帯地域に見られる動き方です。これも気候変動による異常気象の表れかもしれません。

エルニーニョ現象は、2年から7年毎に発生し、9ヶ月から12ヶ月に渡って続くことが多く、その影響は翌年に最も大きく現れる傾向があるそうです。とすれば、来年はもっとと厳しい状況が待っているのかもしれない。そうならないことを祈ります。

(宇留賀 勝)